

普段からの安心・安全チャンネル



サービス概要

CityWatchコンテンツ一例

〇〇

地域名



▶東京都中央区

+ソナエ

Today 29 / 20 °C Tomorrow 24 / 17 °C

常時携帯する災害用品



外出中の災害への備えは、携帯電話、予備バッテリー、LEDライト、非常時の連絡先、健康保険証等の身分証明書（コピー可）。普段使いのマスク、ティッシュ、ハンカチ、筆記用具等は有用。女性は生理用品等も。

地震情報
発表なし

気象警報
発表なし

津波警報
発表なし

噴火警報
発表なし

CityWatchは災害対応力を日

熱中症情報
注意

天気情報

気象警報

噴火警報

生活情報

地震情報

+ソナエコンテンツ

津波警報

お知らせ

時系列に合わせた行動示唆「+ソナエコンテンツ」の表示

- 災害発生前から災害後の経過時間に合わせて、適切な行動示唆コンテンツが表示されます。
あらかじめ時系列や災害情報等に合わせて、コンテンツを分類しておき、その時々合うものを選択する仕組みです。



City Watch ▶ 東京都中央区

+ソナエ
Today 29 / 20 °C Tomorrow 24 / 17 °C

認知症の方に配慮する



心身の保存や生活環境の変化により、病気の症状が悪化したり、「泣中こそぞ驚く」「意識がぼんやりしている」「周囲を視覚する」などの一過性のせん妄が起きることも、早期に変化に気づくことが大切。

 地震情報 発表なし	 気象警報 発表なし
 津波警報 発表なし	 噴火警報 発表なし
CityWatchは災害対応力を日	
 熱中症情報 注意	

コンテンツ放送領域



「+ソナエコンテンツ」のカスタマイズ表示

- 「+ソナエコンテンツ」は通常時には500以上の行動示唆コンテンツがランダムで表示され、注意報や警報が発令された際には対応したコンテンツが自動表示されます。このコンテンツ表示を通常時からカスタマイズすることが可能です。例えば、2回に1回の割合で、集合住宅や避難所に関わるコンテンツを表示するなど。また、ユーザー側で用意したコンテンツを全画面表示することも可能です（追加料金）。

City Watch ▶ 東京都中央区

Today 29 / 20 °C Tomorrow 24 / 17 °C

+ソナエ

認知症の方に配慮する

心身の疲労や生活環境の変化により、痴呆の症状が悪化したり、「夜中ごっこ騒ぐ」「悪戯がばんだりしている」「周囲を推察する」などの一過性のせん妄が起これば、早期に適切な対応が必要となります。

地震情報 発表なし	気象警報 発表なし
津波警報 発表なし	噴火警報 発表なし
CityWatchは災害対応力を日	熱中症情報 注意

コンテンツ放送領域

City Watch ▶ 東京都中央区

Today 29 / 20 °C Tomorrow 24 / 17 °C

+ソナエ

集合住宅

地震情報 発表なし	気象警報 発表なし
津波警報 発表なし	噴火警報 発表なし
CityWatchは災害対応力を日	熱中症情報 注意

コンテンツ例：集合住宅

City Watch ▶ 東京都中央区

Today 29 / 20 °C Tomorrow 24 / 17 °C

+ソナエ

避難所

地震情報 発表なし	気象警報 発表なし
津波警報 発表なし	噴火警報 発表なし
CityWatchは災害対応力を日	熱中症情報 注意

コンテンツ例：避難所

9月 ZOZOマリン開催試合チケット

7/13 (水) ~ 15 (金)	1次先行 7/10(水)~14(日) 会員WE日抽選発売 (10~14時)
7/17 (土) ~ 18 (日)	2次先行 TEAM26有料会員 スペシャルシート先行発売
7/22 (水) ~ 24 (金)	3次先行 TEAM26有料会員 先行発売
8/1 (水) ~	一般発売

コンテンツ例：全画面表示

身近な生活に関わる情報の配信

- 花粉情報・熱中症情報・傘指数といった生活に密接する情報も表示することで、災害情報を普段から確認しておくべき身近な情報として認知してもらうことができます。

City Watch ▶ 東京都中央区

+ソナエ

Today 29 / 20 °C Tomorrow 24 / 17 °C

地震情報 発表なし

気象警報 発表なし

津波警報 発表なし

噴火警報 発表なし

熱中症情報 注意

CityWatchは災害対応力を日

認知症の方に配慮する

心身の疲労や生活環境の変化により、痴呆の症状が悪化したり、「夜中ごそごそ動く」「意識がぼんやりしている」「周囲を眺める」などの一過性のせん妄がおこることも。早期に変化に気づくことが大切。

- ・ 生活情報は季節ごとに切り替え
- ・ 種類は右表の通り

春	夏	通期
花粉情報	熱中症情報	傘指数

CityWatchプッシュ通知一例

各種災害情報の速報受信時に通知画面が表示されます。

■ 緊急地震速報プッシュ通知

緊急地震速報 City Watch ▶ 二十世紀が丘美野里町

震度5強の地震が
15秒後に到達します

発生日時	2017年11月2日 10:12
震央地名	茨城県南西部
最大震度	7

■ 気象警報プッシュ通知

気象警報 City Watch ▶ 二十世紀が丘美野里町

気象警報が発表されました

発生日時 2017年11月2日 10:39

特別警報 大雨特別警報

警報 洪水警報、暴風警報

■ 津波警報プッシュ通知

津波警報 City Watch ▶ 二十世紀が丘美野里町

下記の地域に津波情報が発表されました

発生日時 2017年11月2日 10:39

大津波警報 オホーツク海沿岸、北海道太平洋沿岸東部、北海道太平洋沿岸中部、北海道太平洋沿岸西部、青森県太平洋沿岸

津波警報 岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県九十九里・外房、千葉県内房、東京湾内湾

■ 噴火速報プッシュ通知

噴火速報 City Watch ▶ 二十世紀が丘美野里町

霧島山が噴火しました

発生日時 2017年11月2日 10:39

英語化対応

- 英語版City Watchを使って2分毎に日本語版と切り替えることが可能です。
「+ソナエコンテンツ」は英語版の用意があるもののみランダムで表示します（193コンテンツ）。
※日本語版のコンテンツすべての翻訳が出そろえば、日本語版同様の表示が可能になります。

- アラート配信部分は多言語対応が可能です。

韓国語

中国語(簡体字)

中国語(繁体字)

表示ルール

- ・地震情報・気象警報・津波警報・噴火警報のいずれかで、表示が黄色または赤色の条件となった場合、背景色も対応した色に変更します（変更条件は下表参照）。
- ・複数条件に合致する場合、青<黄<赤の順で一番優先度の高い色に変更します。
- ・背景色の変更から24時間以内に更新がなかった場合は青に戻ります。

	青	黄	赤
地震情報	発表なし or 震度 3	震度 4・5 弱・5 強	震度 6 弱・6 強・7
気象警報	発表なし	気象注意報	気象警報・特別警報
津波警報	発表なし	津波注意報	津波警報・大津波警報
噴火警報	発表なし	警戒レベル 2・3	警戒レベル 4・5
傘指数	発表なし	発表あり	—
熱中症	注意	警戒・厳重警戒	危険

- ・プッシュ通知の条件に合致した情報が発表された場合、全画面で表示します（変更条件は下表参照）。

	通知条件
緊急地震速報プッシュ通知	設置地点への到達震度が4以上の緊急地震速報が発表された場合
気象警報プッシュ通知	設置地点を対象地域に含む気象警報・注意報が発表された場合
津波警報プッシュ通知	津波注意報・警報、大津波警報が発表された場合
噴火速報プッシュ通知	噴火速報が発表された場合

表示コンテンツ一覧

	情報種	概要	発表区分	情報元
プッシュ通知	緊急地震速報Push通知	地震が到達する前に予想される地震情報を通知 (最大震度・到達震度・到達時刻・震源地名)	市区町村単位	気象庁
	気象警報Push通知	気象警報の発令を通知	気象庁の定める気象警報用区分 ※基本的には市区町村単位 http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/saibun/	気象庁
	津波予報Push通知	津波警報の発表を通知	気象庁の定める津波予報区分 ※一次区分 https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/joho/t-yohokuinfo.html	気象庁
	噴火速報Push通知	噴火速報の発表を通知	火山単位 例：火山名 ○○山 噴火速報<○○山で噴火が発生>	気象庁
基本コンテンツ	今日・明日の天気予報	5時、11時、17時に更新	約140地域(都道府県を分割)	民間気象予報会社
	+ソナエコンテンツ			電通 アールシーソリューション
	地震情報(直近1件)	発生した地震の情報 (震央地・発生日時・最大震度・震源深さ・マグニチュード)	気象庁の定める地震情報用区分 https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/joho/shindo-name.html	気象庁
	気象特別警報・気象警報・注意報	現在発表中の警報情報 (対象地域・警報レベル)	気象庁の定める気象警報用区分 ※基本的には市区町村単位 http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/saibun/	気象庁
	津波警戒情報	現在発表中の津波警戒情報 (対象地域・警報レベル)	気象庁の定める津波予報区分 ※一次区分 https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/joho/t-yohokuinfo.html	気象庁
	噴火警報	現在発表中の噴火警報情報 (警戒レベル)	火山単位	気象庁
生活情報	傘指数	いつ傘が必要となるのかの情報 1日1回更新	市区町村単位	民間気象予報会社
	熱中症情報	1日の熱中症のかかりやすさを24時間先まで予想 1日4回更新(6時・11時・18時・23時)	市区町村単位	民間気象予報会社

City Watch 新型コロナウイルス情報表示

<目的>

都道府県単位で感染確認数を表示し、感染症関連のコンテンツを掲示することで、新型コロナウイルスに対する市民の危機意識をさらに高め、「3密」の回避や手洗いの徹底など感染予防行動を訴求します。

The screenshot shows the City Watch website for Tokyo's Nakano Ward. At the top, it says 'City Watch' with a logo of two eyes and '東京都千代田区'. Below this is a weather section for 'Today' (29 / 19 °C) and 'Tomorrow' (26 / 20 °C). A central banner reads '【コロナ対策】人との接触を避ける' (COVID-19 countermeasures: avoid contact with others) with an illustration of people working at a computer. To the right, there are several alert boxes: '地震情報 発表なし' (Earthquake info: none), '気象警報 2020年7月14日 10:10時点 風、強風注意報' (Weather alert: strong wind), '津波警報 発表なし' (Tsunami alert: none), and '噴火警報 発表なし' (Volcano alert: none). At the bottom right, a red box displays '新型コロナウイルス情報 2020年7月12日発表(東京都) 感染確認数: 206名/計7927名 死亡確認数: 0名/計325名' (COVID-19 info: 206 confirmed cases / 7927 total, 0 deaths / 325 total).

<表示内容の定義>

都道府県単位で新たに感染や死亡が確認された人数と累計感染確認数を表示します。

<背景色切り替えの定義>

基本色は黄色。前回集計時から累計感染確認数が増加していた場合、赤色になります。

新型コロナウイルス情報

2020年7月12日発表(熊本県)

感染確認数: 0名/計49名

死亡確認数: 0名/計3名

CC BY 『COVID-19 Japan』

新型コロナウイルス情報

2020年7月12日発表(東京都)

感染確認数: 206名/計7927名

死亡確認数: 0名/計325名

CC BY 『COVID-19 Japan』

City Watch 新型コロナウイルス情報表示

＜ソナエコンテンツの表示＞

発生している災害情報に合わせて自動的に選択されるコンテンツと感染症関連のコンテンツが交互に表示されます。



感染症関連コンテンツ



災害情報関連コンテンツ

＜情報出典＞

『COVID-19 Japan』

(<https://www.stopcovid19.jp/>)

内にある「新型コロナウイルス感染症について - 厚生労働省」のJSONデータ（集約版）を使用。

COVID-19 Japan																																															
新型コロナウイルス対策ダッシュボード																																															
対策病床使用率(参考)*	現在患者数																																														
53.8%	9,355人																																														
累積退院者	死亡者																																														
3,180人	345人																																														
対策病床数 17,378床	PCR検査陽性者数 12,880人																																														
<small> 臨床工学技士 14,378人 / 人工呼吸器 28,197台 / ECHO 1,412台 2020年2月版 出典元 (一般社団法人 日本呼吸器学会) (一般社団法人 日本臨床工学技士会) (一般社団法人 日本臨床工学技士会) </small>																																															
<small> 現在患者数 更新日: 2020-04-25 (速報 2020-06-27T00:00:00) * 対策病床使用率(参考) = 現在患者数 / 新型コロナ対策病床数 新型コロナ対策病床数は「感染症指定医療機関の指定状況」の下記合計と仮定 ☑ 特定 ☑ 一棟 ☑ 二棟(感染) ☑ 二棟(特殊) ☑ 二棟(一般/精神) ☑ 「新型コロナウイルス対策病床数オープンデータ」を使用 ☑ 「新型コロナウイルス患者数オープンデータ」を使用(速報) ☑ 日本医師会総合政策研究機構「ヒートマップ患者数」を表示 ☑ (重症患者のみ) </small>																																															
9,355 / 17,378 <small>(全数) 現在患者数 / 対策病床数* (累積12,880/退院3,180/死亡345)</small>	鳥取 ☁ 2,322 <small>(3/1/0)</small>	石川 ☁ 203/500 <small>(224/16/5)</small>	富山 ☁ 163/100 <small>(175/9/3)</small>	青森 ☁ 8/29 <small>(22/14/0)</small>	北海道 ☁ 365/250 <small>(615/225/25)</small>	山口 ☁ 9/320 <small>(31/22/0)</small>	島根 ☁ 14/30 <small>(16/2/0)</small>	岡山 ☁ 16/120 <small>(21/5/0)</small>	福井 ☁ 51/150 <small>(121/64/6)</small>	新潟 ☁ 32/200 <small>(65/33/0)</small>	秋田 ☁ 9/32 <small>(16/7/0)</small>	岩手 ☁ 0/38 <small>(0/0/0)</small>	長崎 ☁ 9/38 <small>(16/6/1)</small>	福岡 ☁ 389/874 <small>(612/207/16)</small>	広島 ☁ 128/30 <small>(143/14/1)</small>	滋賀 ☁ 71/150 <small>(94/22/1)</small>	長野 ☁ 67/500 <small>(67/0/0)</small>	山形 ☁ 34/150 <small>(66/32/0)</small>	宮城 ☁ 54/278 <small>(85/31/0)</small>	佐賀 ☁ 30/70 <small>(36/6/0)</small>	大分 ☁ 33/118 <small>(60/26/1)</small>	兵庫 ☁ 353/872 <small>(629/252/24)</small>	京都 ☁ 146/278 <small>(290/137/7)</small>	山梨 ☁ 29/58 <small>(51/22/0)</small>	群馬 ☁ 102/208 <small>(141/257/14)</small>	福島 ☁ 50/111 <small>(69/19/0)</small>	熊本 ☁ 34/218 <small>(46/9/3)</small>	宮崎 ☁ 10/31 <small>(13/7/0)</small>	大阪 ☁ 1043/2239 <small>(1,495/604/28)</small>	奈良 ☁ 61/64 <small>(78/4/1)</small>	岐阜 ☁ 85/723 <small>(149/38/6)</small>	埼玉 ☁ 757/811 <small>(786/34/15)</small>	栃木 ☁ 39/130 <small>(53/13/0)</small>	鹿児島 ☁ 7/45 <small>(10/3/0)</small>	愛媛 ☁ 24/70 <small>(47/22/3)</small>	香川 ☁ 23/131 <small>(26/5/0)</small>	和歌山 ☁ 29/32 <small>(38/9/1)</small>	静岡 ☁ 38/87 <small>(63/29/0)</small>	東京 ☁ 2814/2000 <small>(3,930/994/100)</small>	茨城 ☁ 128/200 <small>(138/24/6)</small>	沖縄 ☁ 118/24 <small>(12/0/0)</small>	高知 ☁ 42/24 <small>(4/0/0)</small>	徳島 ☁ 2/130 <small>(2/0/0)</small>	三重 ☁ 28/134 <small>(37/0/0)</small>	愛知 ☁ 370/1500 <small>(400/0/0)</small>	神奈川 ☁ 708/1300 <small>(768/0/0)</small>	千葉 ☁ 540/267 <small>(580/0/0)</small>

サービスを実現する 技術要件

『災害情報配信センター（ストリートメディア社）』

各種災害情報と共に、平時は防災・減災の啓発情報を広告連動で、緊急時には災害対応・被災者支援情報を、24時間世界中に配信できる情報配信センターを整備。災害アラート情報に紐づいて、地方自治体や官庁の配信情報を始め、民間企業・団体の発信情報を連動させた情報配信が可能です。平時には広告の連動配信も可能になります。



災害情報受信・送信プラットフォーム『防災クラウド（RCソリューション）』

地震、津波、風水害、火山、非常事態（国民安全情報）等の様々な災害・緊急速報の情報をいち早く取得して、それぞれのメディアに合わせた情報形態に加工して配信する災害情報受信・送信プラットフォーム『防災クラウド（RCSC）』により、防災・災害情報の独自APIを通じて提供し、独自クラウドSDKを通じたアクセス体制を整備。メディアに応じたカスタマイズとアプリ作成が可能にします。



緊急地震速報サイネージ

概要：駅のサイネージで緊急地震速報を速報するに活用
情報：緊急地震速報/フラッシュ形式 (Json)

避難所確認モニター

概要：コンビニのディスプレイで避難所情報を確認するに活用
情報：緊急地震速報/フラッシュ形式 (Json)

防災学習黒板

ハイブリッド黒板アプリ「Kacru」(株)サカワ
家地震に遭ったら
あわてずに、自分の身を守る。
概要：黒板に防災コンテンツを投影して防災教育に活用
情報：防災学習/API形式 (Json)

気象警報 STB

概要：STBを利用して、テレビで大規模な警報を速報するに活用
情報：特別警報/フラッシュ形式 (Json)

熱中症情報サイネージ

概要：駅のサイネージで熱中症情報を速報するに活用
情報：熱中症情報/API形式 (Json)

降水予報アプリ

概要：自転車に乗っていると急に大雨を予想するに活用
情報：降水予報/フラッシュ形式 (Json)

Jアラートアプリ

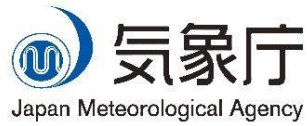
概要：寝ているときにJアラートのアラートを受信するに活用
情報：国民安全情報/フラッシュ形式 (Json)

防犯カーナビ

概要：カーナビでその地域の防犯情報を確認するに活用
情報：防犯防犯情報/フラッシュ形式 (Json)

災害情報受信・送信プラットフォーム『防災クラウド（RCソリューション）』

気象業務支援センター
(気象庁の下部組織)



プッシュ通知の元となる情報
・緊急地震速報
・気象警報・注意報/気象特別警報
etc

収集した情報を整理・蓄積



WEB API

WEB APIを通じて配信

CityWatchサーバ



情報を
PULL



ライフビジネスウェザー
(民間気象会社)



・天気予報
・生活情報(傘指数)



PUSH通知



電通オリジナルコンテンツ 災害アラートを起点にした行動示唆「+ソナエ・アルゴリズム」

いざという時の具体的な手法や手順を簡単に引き出せる、電通オリジナルアルゴリズム。
 これまで蓄積された世界中の防災知見をもとに、防災から日々の暮らしの「いざという時」までを類型化したもの。いつ、どこで、どんな状況かなどを入力すると、約400の知見の中から適切なコンテンツを対象者別・テーマ別で抽出可能です。



導入実績

岡山県倉敷市、愛媛県松山市の避難所等に デジタルサイネージ機器を設置し、情報提供を開始。

9月28日、西日本地域を中心に大きな被害をもたらした「平成30年7月豪雨」の被災者支援として以下の避難所等にデジタルサイネージ機器を設置し、情報提供を開始しました。

設置先①

【場所】まきび荘(福祉避難所)

【住所】岡山県倉敷市真備町市場4661



設置先②

【場所】愛媛県総合社会福祉会館

【住所】愛媛県松山市持田町3丁目8-15



株式会社北海道新聞社にデジタルサイネージ機器を設置し、情報提供を開始。

2018年9月6日に発生した「北海道胆振東部地震」の被災者支援として、10月29日、株式会社北海道新聞社にデジタルサイネージ機器を設置し、情報提供を開始しました。



選ばれる理由をつくる。
ヘルメゾン



防災サイネージ※

所在地の気象情報や備災ノウハウを発信するモニター。災害時には各種注意報や地震速報も発信します。



平常時のコンテンツ

【コンテンツ連動した動画配信】



7 大きな地震、あなたはどうする？

8 大切なものを台風や大雨から守る

9 電気火災を防ごう

15 避難生活では「衛生」と「電機」に配慮

ヘルメゾン
 ぞなまのチェックリスト

- 家具を壁面に固定している.....①
- 避難階段がつかずまはしている.....②
- 避難物資や防災用品が破損していない.....③
- 家具をしっかりと固定している.....④
- 少し多めに食品や日用品を備蓄している.....⑤
- 避難物資や防災用品が破損せずに持ち出せる.....⑥
- ペットの食糧に目星がスリッパがある.....⑦
- 避難物資や防災用品の収納場所を確保している.....⑧
- 避難物資の入れかたを把握している.....⑨
- 避難物資の入れかたを把握している.....⑩
- 避難物資の入れかたを把握している.....⑪
- 避難物資の入れかたを把握している.....⑫
- 避難物資の入れかたを把握している.....⑬
- 避難物資の入れかたを把握している.....⑭
- 避難物資の入れかたを把握している.....⑮
- 避難物資の入れかたを把握している.....⑯
- 避難物資の入れかたを把握している.....⑰
- 避難物資の入れかたを把握している.....⑱
- 避難物資の入れかたを把握している.....⑲
- 避難物資の入れかたを把握している.....⑳

資源エネルギー庁の実証実験として2019年10月～2020年1月まで試験展開

「展開先」	商業施設	名古屋栄地下街セントラルパーク（中部） イオンモール岡山ビジョン（中国）
	交通機関	東京モレール羽田空港各駅（関東） 博多駅前どんたくビジョン（九州）
	公共施設	八戸ポータルミュージアム（はっち）（東北） 大通公園ルトロワビル（北海道） 九州電力街頭ビジョン（九州）
	居住区	柏の葉キャンパススマートシティサイネージ（関東） 京都新聞販売所（関西）



名古屋駅前大型ビジョン



京都新聞
向日販売店



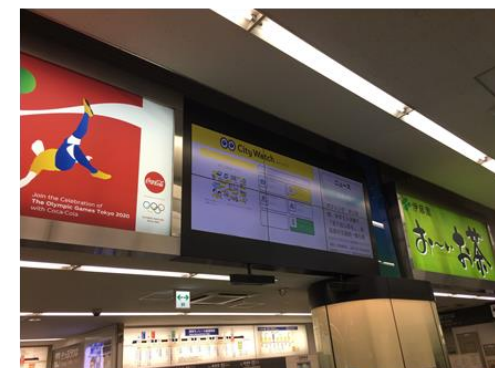
京都新聞
長岡販売店



羽田空港国際線ビル駅



羽田空港第1ビル駅



羽田空港第2ビル駅



九州電力街頭ビジョン



博多駅前どんたくビジョン



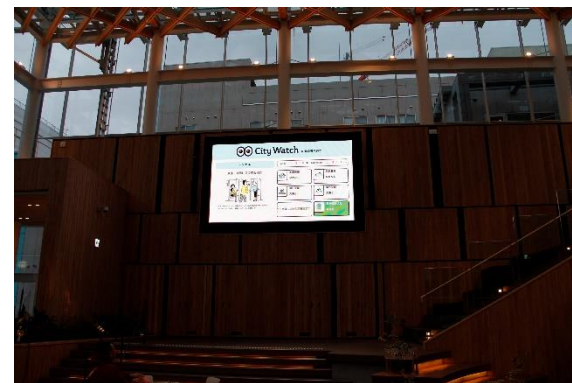
柏の葉キャンパススマートシティ
サイネージ



名古屋セントラルパーク
インフォメーション



名古屋セントラルパーク
交通機関入口

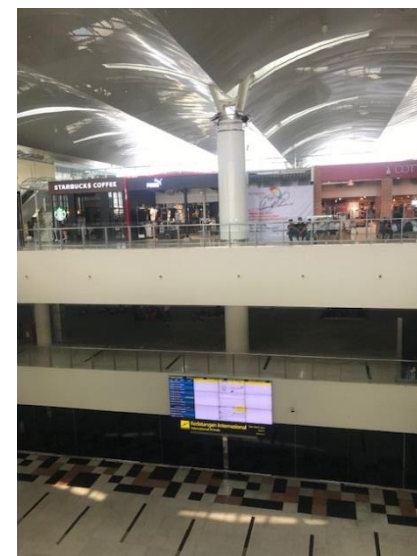
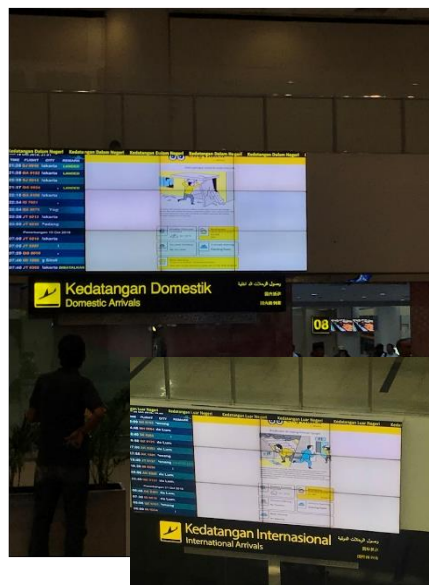


青森県八戸市
「はっち」

インドネシアのメダン市にあるクアラナム国際空港にて 空港内デジタルサイネージで「City Watch」テスト配信を開始

2018年10月18日～26日の間、メダン市にあるクアラナム国際空港にて「City Watch」のテスト配信を実施しました。この取組みは、インドネシアのANGKASA PURA II（空港管理会社）、BMKG（インドネシア政府メダン市気象気候地球物理庁）、Moratelindo（インドネシア通信会社）との連携により実現しました。

この取組みを起点に、関係省庁や地方政府とも積極的に連携してインドネシアにおける防災力向上に寄与していくべく取り組んでいきます。



メディア露出 展開実績

2018年9月25日

全国初、24時間365日 デジタルサイネージに防災情報を配信

ー 防災啓発・災害情報提供に特化した情報発信体制を整備 ー

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：山本 敏博、URL：dentsu.co.jp/）、ストリートメディア株式会社（所在地：東京都千代田区、社長：大森 洋三、URL：streetmedia.co.jp/）、アーリーソリューション株式会社（所在地：東京都新宿区、代表取締役：栗山 章、以下「RCソリューション」、URL：rsc.co.jp/）は、デジタルサイネージ（電子看板）を活用した情報発信事業として全国初となる24時間365日の防災情報発信体制を構築し、9月25日から配信を開始します。

本事業は、防災啓発・災害情報の影響に特化したデジタルサイネージ向けの情報配信を目的としており、今後、全国の自治体や企業に向けて発信し、2020年には10,000カ所を提供することを目標としています。

なお、西日本地域を中心に大きな被害をもたらした「平成30年7月豪雨」ならびに9月6日に発生した「北海道胆振東部地震」への被災者支援として、9月27日より順次各地域の避難所等にデジタルサイネージ機器を設置し、情報提供を開始する予定です。

各社の役割と提供サービスの概要は次のとおりです。

◇各社の役割

電通が開発した防災啓発行動示唆アルゴリズム「+ソナエ・アルゴリズム^{※1}」をベースに電通とRCソリューションが共同で開発中の防災啓発・災害情報提供サービス「City Watch（シティウォッチ）^{※2}」の情報を、全国のデジタルサイネージ向け配信体制を通して、24時間365日配信します。配信にあたっては、ストリートメディアが提供するデジタルサイネージ向けの運用ノウハウを用いて、東日本電信電話株式会社（以下「NTT 東日本」）の協力を得て同社保有のデジタルサイネージ放映システム「ギガらくサイネージ^{※3}」を活用します。

《電通》

- ・「+ソナエ・アルゴリズム」を活用したシーン設計に基づく、情報内容の確定
- ・支援団体から現地ニーズ吸い上げ、活用する啓発コンテンツを選定

《ストリートメディア》

- ・デジタルサイネージへの情報配信作業
- ・デジタルサイネージハード機器の提供

《RCソリューション》

- ・災害アラート情報と選定された啓発コンテンツの配信サービスの提供

《NTT 東日本》

- ・デジタルサイネージ放映システム「ギガらくサイネージ」の提供

◇提供サービスの概要

- （1）配信コンテンツ
 - ・災害関連情報・行政からの支援や地域情報・支援団体からの支援情報・災害アラート・行動示唆コンテンツ
- （2）設置場所（9月27日からの設置予定地）
 - ・愛媛県松山市愛媛県総合社会福祉会館、岡山県倉敷市福祉避難所 他
- （3）設置機器
 - ・46インチディスプレイ（ディスプレイスタンド付き、高さ1.5メートル）
- （4）配信イメージ

。せてエア旅ド民 | 舌東厚真火力発電所。手
シて機 の建屋（20日、北海道

グェルサーチ、米企業こ売却へ

アルバイト情報事業とも連携。マイナビの営業拠点でサービスを販売し、地方の飲食店を開拓する。
電通、電子看板で地域の災害情報
 電通は電子看板に地域ごとに細かく分けた災害情報を配信するサービスを始める。災害が発生した時に商業施設や避難所などに集まった被災者に、災害状況や周囲の状況を正確に把握してもらい、安全に避難してもらう。28日から愛媛県や北海道で実証実験を始め、2020年までに1万カ所での運用を目指す。災害情報配信サービス「シティ・ウォッチ」は電子看板の設置運用支援のストリートメディア（東京・千代田）と、アーリーソリューション（東京・新宿）と連携して手掛ける。

日経新聞(2018.09.25本紙朝刊9面)

生活情報と防災の知識を24時間配信 新たな「災害に強いまちづくり」が始まる

毎日の暮らしの中で自然と防災情報に触れられるサービス「City Watch」の情報を、24時間365日配信される防災サイネージサービスが開発された。地域の防災はどのように変わるのか。開発者の株式会社 電通 ビジネス共創ユニット ビジネス・プロデューサーの谷口隆太さん、ストリートメディア株式会社代表取締役の大森洋三さんにインタビューした。

たとえば車に乗ってトンネルの中で煙に巻かれたら、私たちはどのような行動をとればいいのか。トンネルの入口付近にいるのか、中間あたりにいるのか、場所によってとるべき行動は変わってくる。それは水害の時も、地震が起きた時も同じだ。状況は、今いる場所は一と選択して初めて行動に移せる。「防災」に関する情報はとにかく多く、複雑なのだ。その情報をわかりやすく、日頃から地域住民に周知するために平成30(2018)年9月に生まれたのが「City Watchサイネージ」だ。デジタルサイネージで防災情報と地域の生活情報を発信できる。

開発のきっかけは東日本大震災

「震災が起きた当初はみなさん、防災に関心がありますが、時間が経つにつれて興味が薄れてしまいます。防災に関する知識がなく、災害が発生してから慌てて対応するのでは遅いんです」と話す谷口隆太さん。RCソリューション株式会社と共に始まったコンテンツづくりには、東日本大震災をきっかけに取り組んだ、さまざまな防災啓発活動での経験を生かした。

ポイントは、「携帯電話やスマートフォン」を持たない人にも知ってもらえるシステム」と話す大森洋三さん。docomoの



City Watchの画面例



左から株式会社 電通 ビジネス共創ユニット ビジネス・プロデューサー 谷口隆太さん、ストリートメディア株式会社代表取締役 大森洋三さん

モード開発に関わり、10年間で250ものサイトを手がけてきた。スマホを持っている人には便利になったが、情報を主体的に探せない人、受信できない人もいる。訪日外国人もそうだ。たとえスマホがなくても、人の命を守り、街の安全を守る「情報カバラー」が大切だと考えた。

「事前に防災情報を学習してもらい、浸透させていく。各自治体での情報発信と浸透への取組みが必要なんです」(大森さん)。

地域を安全に住みやすく いつでも防災の知識に触れる

そこで誕生した防災サイネージサービス「City Watchサイネージ」には三つの特徴がある。一つは、各自治体に合わせた生活情報を配信できることだ。ゴミ出しの日、天気、地域のイベントなどの情報と防災の知識を画面を切り替えて発信する。住民は自分に必要な情報を見ながら、自然と防災について学べるのだ。

二つ目は地域の安全レベルが色で認識できることだ。平常時は青、注意時は黄色、災害発生時は赤と色を変えることで訴求力を高めている。

三つ目は情報量と質だ。500もの防災コンテンツを配信でき、さらにアルゴリズムを組み込んで、それぞれの災害の種類・場所の特性に合わせて必要情報が出せる。電通が開発したこの「十ノナエ・アルゴリズム」に加え、「街としての情報基盤」をつくっていく上で欠かせない存在であるNTT東日本の「キガラクサイネージ」の機能を活用した本サービスを導入することで、より地域に密着した防災・災害情報を24時間365日配信できるのだ。英語にも対応し、その他6言語に翻訳できるシステムも間もなく完成するという。

「『あなたの街のCity Watch』があることで、誰もが安心して住みやすい街にしたい。City Watchは地域の情報カバラーを変え、いつでも防災情報に触れられるサービスのんです」(大森さん)。

City Watchサイネージでできる5つのこと

十ノナエの配信

時期やエリア、ターゲットを設定し、地域に適した防災知見を配信する。情報を活用し子どもでアウトプットも可能。

生活情報の配信

ゴミ出し日、イベント情報など、地域によって表示したい内容をカスタムできる。

警戒時には色でお知らせ

大雨洪水警報、避難警報などが発令された警戒時には、サイネージの色が変化する。



1台でさまざまな情報を収集

地震速報や気象警報、津波情報のほか、火災警報や国民保護情報なども配信。



多言語対応

外国人居住者・訪日外国人に向けた英語での配信も可能。今後も言語に対応する。

今後導入される予定の言語

- 中国語 (繁体字・简体字)
- 韓国語など

ソナエ・アルゴリズムとは?

いざというときの行動や避難の方法などを簡単に引き出せる電通が開発したアルゴリズム。世界中の防災知見をもとに、類型化して蓄積している。約500ものコンテンツから適切なコンテンツを対象者別・テーマ別に抽出できるのが特長だ。



コンテンツは約500種!

国内外の防災マニュアルや研究発表などで集められた防災情報を配信。

- 例).....
- ・エレベーターで地震にあったら
 - ・出口・避難経路の確保
 - ・夜間の避難で準備すること
 - ・避難所でのルールとマナー
 - ・エコノミー症候群を防ぐには



City WatchサイネージはNTT東日本にて取り扱っております。詳しくは以下にお問い合わせ下さい。

お問い合わせ ▶ NTT東日本 B2Bマーケティング部 ☎ 03-5359-3070 (平日9:30~18:00)
メール b2bm_g15-m@east.ntt.co.jp

◎文中記載の会社名および製品名などの固有名称は、各社の商標または登録商標です。
◎文中に記載の組織名・商標・画像等・取材内容はすべて2019年2月時点(インタビュー時点)のもです。

岡山県倉敷市

災害発生後、避難所にデジタルサイネージを設置 必要な情報を早く正確に市民へ



左) NPO法人九州キリスト災害支援センター 災害看護支援部 看護師/防災士・山中弓子さん
右) 倉敷市高齢事業局情報管理課 課長補佐兼経営管理係長・角南誠さん

平成30(2018)年7月の西日本豪雨で大きな水害に見舞われた岡山県倉敷市真備町。福祉支援施設「まきび荘」では9月中旬に「City Watchサイネージ」が設置された。防災情報の発信には、NTT東日本の「ギガらくサイネージ」の機能を活用した。看護師として入居者をサポートしたNPO法人九州キリスト災害支援センターの山中弓子さんと倉敷市役所・角南誠さんに現場での利用状況を聞いた。

避難所での導入を経て 情報の大切さを再認識

—利用状況を詳しく教えてください。
山中氏:高齢者の多い場である老人福祉センター「まきび荘」は豪雨に伴って平成30(2018)年7月9日から休館し、8月16日から福祉的避難所として倉敷市によって運

営が開始されました。私は災害支援NPOのスタッフとして市職員と連携を図り、24時間常駐し避難所の環境改善や食環境改善、健康管理など避難所運営支援と災害看護支援をしていました。最大44人が入居され、0歳から80歳代までの幅広い年齢層の避難所利用者がいらっしゃいましたが、12月にはすべての避難者が退所されています。角南氏:「まきび荘」は市が運営する避難所のなかで唯一看護師が常駐していたこともあり、優先的に福祉利用に充てられていました。私が施設に出入りするようになったのは9月中旬ごろからで、まだ残暑が厳しかったと記憶しています。

—避難所の状況や施設利用者の様子はいかがでしたか。
山中氏:日中は気温が上がります。入居者や避難所の利用者は精神的にも身体的にも

かなり疲れ切っている。感染症の予防に加え、熱中症には特に注意が必要でした。角南氏:市の職員として現場に入りましたが、もともと塵芥処理する施設ではないので、居住スペースの整備や入居者の方の生活のサポートなどで、あっという間に一日が終わりました。人手が足りず、人材にも限りがあります。緊急な対応で精一杯の状態だったと思います。山中氏:災害発生からのフェーズによって、必要な支援は変わります。まずはゴミの処理や家の片付けなど、それから被災支援の手続きやボランティアの手配と、段階的に生活を整えていきます。被災者など行政に関わることは避難所のチラシやホームページに掲載されていますが、すべてをチェックするのはなかなか難しい。日中は自宅や職場の片付けに行き、日が暮れるころにへとへとになって帰ってくる。疲労困憊

◎文中記載の会社名および製品名などの固有名称は、各社の商標または登録商標です。◎文中に記載の組織名、氏名、肩書は取材内容などすべて2019年2月時点(インタビュー時点)のもので、日本事例はあくまでも一例であり、すべてのお客様について同様の効果があることを保証するものではありません。

導入事例



まきび荘に設置されたCity Watchサイネージ

導入サービス City Watchサイネージ

設置期間 2018年9月28日～2018年12月31日

入所者数 最大44人

サイネージに表示した情報

天気予報などの気象情報、地震・津波・警報・噴火などの災害情報、ソナエコンテンツ など

画面例1



平常時でも地域の安全な状況が確認できます。

画面例2



平常時は日頃の備えや避難方法などの情報を発信します。

のなかで膨大な文字情報から自力で必要なものを見つけるのはかなり大変ですが、サイネージがあれば受動的に情報を得られるので、そのストレスは軽減されますね。角南氏:情報を発信する行政側としても、必要な人に適切な情報が届いているかという懸念がありました。その点では、伝えるべき正しい情報を発信できる「City Watch」は有効なツールだと感じています。山中氏:大型画面なので目立ちますよね。避難所の入り口に置いていたので、立ち止まって観ている方もたくさんいました。

さらなる活用に向けて 期待すること

—より実質させたい情報は?

山中氏:育児世代に向けた情報は特にニーズが高く、避難所での生活は数カ月

に及ぶ場合もあるので、保健衛生面では季節ごとの情報発信が必要だと感じています。家庭の消毒の仕方などは支援に入るボランティアや個人によって認識に差があるため、知識を平準化するためにもこうしたツールが活用できると便利です。音声出力やタッチパネル化ができれば、さらに利用は広がりますよね。角南氏:必要な情報をいかにスピーディにまとめ、市民に届けるかが今後行政の課題だとあらためて認識しました。現場の人材確保と育成も欠かせません。信頼できる情報を、責任を持って発信する。その土壌が確立できたのは今回の大きな収穫でした。今となっては、こんなに便利なツールが今までなかったのが不思議なくらいです。山中氏:吹き出しなど避難所ごとの情報と、行政の共通情報の両方がチェックできれば便利です。避難所だけに情報が集

まらないように配慮しながら、巡回バスやスーパー、郵便局、ボランティアセンター、「まきび荘」のような交流施設など市民の目に触れやすい場所にサイネージがあれば、よりスムーズに多くの人に情報を共有できるのではないのでしょうか。



まきび荘外観

首都圏直下地震や南海トラフ地震等の大規模な災害予測が発表されています。
更に、西日本豪雨等の頻発する水害や北海道地震等の多くの被災が起きています。

災害に対する意識は皆様の間で確実に高まってきています。
しかし、自然災害を日頃からいつも想定して生活することは難しく、
自然災害リスクへの対応は後回しになりがちです。

生活の一番近い場所で、いざという時に必要とされる情報をお届けすることで、
災害に対応するお手伝いをして、少しでも被災の被害を減らすことを目指して、
このチャンネルを今後も発展させながら取組んでいききたいと考えています。

「いつ起きるかわからない災害」を待つリスクではなく、
「日頃の安心・安全を確認する心のゆとり」を手に入れる価値として、
災害対応力を日常生活の中で強化していくことに取組みます。

